



全日畜だより

[こちら編集部] (03)-3583-8034

東京都港区麻布台2-2-1麻布台ビル

発行日 2019年5月23日

発行NO 2019 - 19号

全日畜も「令和元年度」が本格的にスタートしました。 今年度 第1回 理事会 を開催 (5月20日)

- ☆ 5月1日(水)「平成」の時代に続いて新元号「令和」の時代がスタートしました。農畜産物分野に大きな影響を与える国際的な貿易協定の相次ぐ発効の影響や、待ったなしの「少子高齢化」がもたらす影響等、課題は山積です。
 - ☆ 来る6月20日(木)に開催予定の第11回定時社員総会で、こうした取巻く情勢を踏まえた令和元年度の力強い活動計画等を確立するため、5月20日(月)今年度第1回の理事会を開催しました。
 - ☆ 今回が、平成29・30年度と組織運営を担った第五期の役員による最後の理事会となりました。6月の総会で第六期の体制が誕生します。喫緊の課題である「畜産経営における安定した労働力確保」に調査事業で取り組みます。
- ※ 上段の写真は現職(第五期)の役員のみなさん
 ※ 右下のピラは6月20日の総会・セミナーのピラ
 ※ 左下は施行中の第六期の社員選挙の公告



(全日畜からのご案内)

第11回「定時社員総会」の開催 総会記念「全日畜セミナー」の開催



【ご挨拶】

日頃より、全日畜の諸活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。さて、平成21年度に畜種横断の畜産経営者の団体として誕生した「全日畜」は、今年度で11年目を迎えることとなります。畜産経営者を取巻く環境は、国際的な農畜産物の自由貿易交渉が急速に進展するなど大変厳しい状況にあります。私たちが畜産経営者は、今後も消費者の皆様へ安心して、美味しい畜産物の安定供給に努めて参ります。つきましては、今年度も「第11回定時社員総会」及び「総会記念 全日畜セミナー」を開催いたします。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

「第11回定時社員総会」及び「全日畜セミナー」の概要

- 1 開催日 令和元年6月20日(木)
- 定時社員総会 13:00 ~ 14:45 (13階 飛鳥の間)
 - 全日畜セミナー 15:00 ~ 17:00 (13階 飛鳥の間)
- 2 会場 ホテル アジュール竹芝
〒105-0022 東京都港区海岸 1-11-2
TEL 03-3437-2011 FAX 03-3437-2170

【セミナー講師のご紹介】



演題 畜産環境について
 講師 農学博士 羽賀 清典 氏
 一般財団法人 畜産環境機構 管理・技術型 参与
 元、麻布大学 獣医学部 畜員教授
 プロフィール 東京教育大学(現筑波大学)大学院農芸化学専攻修士課程修了
 1973年 農林省畜産試験場、農林水産省畜産環境技術研究所、
 農研機構畜産地帯研究所等に勤務

【講演の要旨】

1999年の家畜排せつ物法の制定を契機に、ふん尿処理施設の整備が進んだ。畜産農家の主たる処理方法は堆肥化処理(発酵処理)であり、糞尿では汚水の浄化処理、フロイラーでは燃焼処理が多く行われている。悪臭問題の解決と硝酸性窒素等の排水基準の遵守が最近の重要課題となっており、エネルギー利用も重要視されている。

公 告

一般社団法人全日本畜産経営者協会社員選挙規程第5条の規定に基づく選挙の公告事項を以下のとおり定める。

1 社員選挙区と定数

- 北海道選挙区 : 定数3名
- 東北選挙区 : 定数4名
- 関東選挙区 : 定数4名
- 中部選挙区 : 定数2名
- 関西選挙区 : 定数3名
- 九州選挙区 : 定数4名
- 計 : 20名

2 候補者登録の受付期間及び受付方法

候補者登録の受付期間は、令和元年5月20日(月)~5月31日(金)までの12日間とし、この期間内に別紙1の立候補届を選挙管理委員長へ提出することによって受付を行う。

3 当選人の決定方法

社員選挙規程第8条の規定に基づき、候補者が定数を超えた場合には投票により、また、定数以内の場合は投票を省略して候補者を当選人とする。当選人には、別紙2の当選証書を交付する。

令和元年5月10日

一般社団法人全日本畜産経営者協会
 選挙管理委員長 梅山 広



(文中での団体の略称標記について)

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会 (全日畜)
- ・協同組合 日本飼料工業会 (工業会)
- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金 (全日基)
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会 (〇〇県基金協会)

新メンバーによる 第1回 運営委員会 を開催（5月13日）

- ◎ 今年度の新メンバーを招集して第1回の運営委員会を開催しました。（工業会会議室にて）
- ◎ 検討課題は、6月の総会で実施される第六期社員選挙及び新たにスタートするJRA事業（雇用促進）の対応など。
- ◎ 併せて今期の役員体制を決定しました。
委員長 梅田 広 氏（新任）
副委員長 小南博義 氏（新任）
副委員長 全屋和夫 氏（新任）
- ◎ 今期も、運営委員会の諸活動へのご協力よろしくをお願いします。



地域全日畜等の事務局長を招集して 第1回 事務局長会議 を開催（5月9日）

- ◎ 関連団体が一齐に総会シーズンを迎えたタイミングを捉えて、地域全日畜と県全日畜の事務局長を招集して、今期第1回事務局長会議を開催しました。
- ◎ 会議での主題は、全日畜と地域全日畜・県全日畜との活動連携で、近年、全日畜が取り組んでいるALIC事業やJRA事業で、地域で開催するシンポジウム等の連携による相乗効果の発現等について打合せを行いました。



H30年度事業（ALIC事業・JRA事業）の調査報告書が完成しました。

- ◎ **H30年度ALIC事業の調査報告書**
全143ページの養豚農業実態調査報告書が完成しました。報告書では、「畜産クラスターの活用度」「労働力確保の状況」等も併せて報告しております。
- ◎ **H30年度JRA事業の調査報告書**
スマート畜産調査普及事業について、付属書3点を含む四冊構成の報告書を完成しました。
- ◎ **報告書はHPで公開**
調査報告書は全日畜ホームページの「資料室」で公開中です。



（文中での団体の略称標記について）

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会（全日畜）
- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金（全日基）
- ・協同組合 日本飼料工業会（工業会）
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会（〇〇県基金協会）